

平成30年度 学校経営方針

昭島市立中神小学校長 松 井 茂

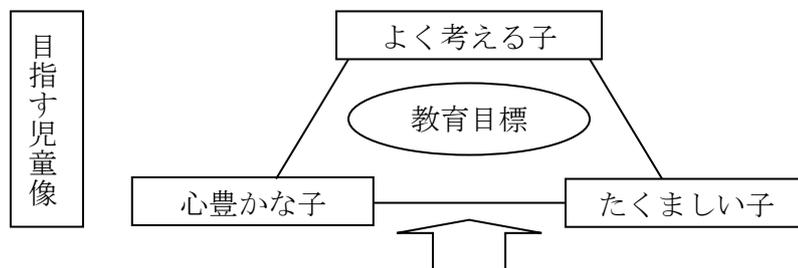
1 経営の基本方針

◇ はじめに

- ・義務教育の目的は、個々の児童の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことです。
- ・市立学校として、保護者・市民から子どもの指導・育成を信託されると共に、学校の施設は、教育活動を中心とした地域コミュニティの場です。「地域の学校」として、学校・保護者・地域の三者が連携して「地域の子供」である中神小の子どもたちの教育を進めていきます。

◇ 教育目標・目指す学校

東京都及び昭島市教育委員会の教育目標を尊重しながら、人間尊重の精神を基調とし、生涯学習の視点に立って、知性と感性に富み、たくましく生きる人間性豊かな子どもの育成を目指して次のように目標を設定し、実現を図ります。



○学校全体で進める特別支援教育

「昭島市立学校 教育のユニバーサルデザイン」を取り入れた学級づくり

○子どもも教職員も当たり前なことを当たり前に行えるようにし、

元気なあいさつ、笑顔あふれる学校

○子ども、保護者・地域、教職員が中神小でよかったと思える学校

そのため、次のような教育活動を中心に中神小の教育を進めていきます。

「か」・・・かかわりを大切にした教育の充実

「し」・・・しっかり身に付け実践（中神小の学習や生活ルール）

「こ」・・・言葉を大切にした教育の充実（いじめ・差別・偏見を許さない）

「い」・・・いつも元気な子を育てる教育の充実

目指す学校像

「チーム中神」として推進

2 今年度の取組目標

(1) 「か」…かかわりを大切にした教育の充実

<子ども>

- ① 学校行事や児童集会・学年活動等において、めあてをもって取り組み自発的・自治的な活動を行うことで、友達と協力することの大切さや達成感を味わわせます。
- ② 縦割り班で行う活動では、子どもの創意工夫を生かした活動を行う中で、異年齢の友達とかかわる楽しさを感じさせていきます。
- ③ 各教科等の学習内容とオリンピック・パラリンピックを関連付け「4つのテーマ」(オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境)と「4つのアクション」(学ぶ(知る)、観る、する(体験・交流)、支える)を組み合わせた取組をします。また、その中で障害者理解が図れるよう取り組みます。
- ④ 日本の伝統・文化に学習・体験することで日本の良さを知り・発信できるようにします。
- ⑤ 外国語活動を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成したり、国際理解教育を通して外国の文化を知り共感的態度を育成したりしていきます。

<自然>

- ① 自然観察や体験的な学習を通して、自然や人々とのかかわりを深め、自然を大切にする心情を育みます。

<地域>

- ① 教育ボランティア等、地域人材を活用し、その専門性を生かした体験的・感動的な学習活動を推進すると共に、子どもの安全や学校の環境整備に協力していただけるボランティアを募り、地域と共にある学校に努めます。
- ② 地域の自然、文化・伝統及び技術等を教育活動に積極的に取り入れ、地域を素材とした学習を展開し郷土昭島に対する愛着や誇りを育てます。

<教職員>

- ① 人権感覚を磨き、自身の行動が子供の範となることを自覚し、TPOに応じた服装・言葉遣い・言動に留意しながら、日頃から子どもたちの自尊感情が高まる指導を行います。
- ② ユニバーサルデザインに基づく、教室環境・授業づくりを目指し、全ての子どもたちにとって参加しやすい学校づくりを行います。
- ③ 事故やトラブル等の報告・連絡・相談は迅速に行い、誠実とスピード感のある対応に心がけ、特に初期対応については細心の注意を払います。
- ④ 学校公開や学校行事における教育活動の公開、掲示物等の工夫、諸たよりの発行、ホームページの活用等学校の方針、子どもたちの成長等を積極的に発信します。

(2) 「し」…しっかりと身に付け実践(中神小学校の学習や生活ルール)

<学習>

- ① 授業改善推進プランを基にした「分かる・できる・楽しい」授業づくりを工夫・改善をし、基礎的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等育成のバランスを取りながら道徳性・社会性を育成し、主体的・意欲的に学習に取り組む態度を養います。
- ② 朝学習の時間を計画的・有効的に活用したり、毎日の宿題を工夫したりしながら基礎的な知識・技能の定着の場を確保し、確実に身に付けられるようにします。また、放課後や土曜日の補習教室や夏季休業中の補習を活用したり、家庭学習の習慣化を図ったりします。(くじラーニングの活用)
- ③ 東京ベーシックドリルなどの活用を図り、個の学びに応じた少人数指導体制のより一層の充実と問題解決型学習の積極的導入を行います。各学年の定着率を80%以上を目指します。
- ④ 児童が主体的に自己実現を図る力を育むことができるよう、カリキュラムや指導方法の工夫・改善を図ります。(教科横断的)また、中学校との連携した教育を推進します。
- ⑤ プログラミング学習の研究を通し、各教科の目標に迫るため授業改善を図ります。

<生活>

- ① あいさつや廊下歩行を中心に規範意識を育てる指導を組織的、計画的に進めると共に「校内・校外生活のきまり」「生活目標の徹底」等により、6年生を手本を示す学年として育てます。(各学級の具体的目標の自己評価を活かす)
- ② 道徳教育は心を育てる要です。その推進にあたっては、学習指導要領を基に道徳教育推進教師を中心として、保護者・地域の協力・理解を得ながら全校体制で取り組んでいきます。その中で、道徳的心情を培い、自ら実践しようとする道徳的態度を育成します。

(3) 「こ」…言葉を大切にした教育の充実

- ① 「昭島市立中神小学校いじめ防止等のための基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期対応を組織的に取組、スクールカウンセラーなど諸機関を活用し、子どもが気軽に相談できるような体制をつくります。
- ② 互いに認め合い、尊重する言葉遣い・呼び方をするなどよりよい人間関係を築く言語環境を整えると共に、あらゆる差別と偏見を許さない人権尊重教育を推進します。
- ③ 朝読書などを活用、工夫し、子どもたちがすすんで読書する態度を育みます。
- ④ 言語活動の充実を図り語彙力、話す力・書く力を付けていきます。

(4) 「い」…いつも元気な子を育てる教育の充実

- ① 体育的行事等の充実を図ったり、休み時間には外で遊んだりしながら、体を動かす習慣を身に付けます。
- ② 学校保健委員会の一層の充実とランチルームの活用と食育指導を通して、心身共に健康な子どもを育成します。
します。
- ③ 子ども一人一人の心身の健康・安全を最優先します。保護者・地域の方々と連携し、身の回りに潜む危険について多くの目で見守ります。
- ④ 体力調査の結果を受け、本校の子ども実態に応じた体育指導や中神サーキットの工夫・改善を図ります。

(5) 「チーム中小」として、教職員の集団づくり

- ① 校長の経営方針に基づき、組織として効率化を図り、職層に応じた役割を果たすと共に、教育効果を発揮できるよう努めます。
- ② 教師魂と指導力、学級・教科経営力などの継承を図り、学年組織、分掌組織、校内研究・研修を工夫し、職層、職歴に応じてOJTとOffJTに努め、学校全体の教育力を伸ばす。
- ③ インクルーシブ教育を推進するために、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の機能を充実したり、四つ葉教室との連携を密に情報交換を図ったりしながら組織的・計画的な支援を行います。また、全教員がこれに関する研修を受け日常の教育活動に活かしていきます。
- ④ 全教職員体制で共通した指導が行えるよう、報告・連絡・相談・記録体制を充実すると共に、保護者・地域と迅速に対応できるように努めます。
- ⑤ 全教職員が健康に留意し、明るく笑顔の絶えない学校に努めます。